

みらかホールディングス株式会社が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、このたび、みらかホールディングス株式会社が発行する第3回、第4回、第5回無担保社債（ソーシャルボンド、以下「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします。

「ソーシャルボンド」とは、調達資金の使途が社会的課題の解決に資するものであることに限定された債券です。

本債券（第3回債、第4回債、第5回債）は、みらかホールディングス株式会社がソーシャルファイナンスフレームワーク（以下、本フレームワーク）として策定した「あきる野プロジェクト」における機器・ITシステムの導入、及び検査の質の向上と革新的な技術開発に向けた研究開発のための資金として調達されたものです。

また、本フレームワークの策定にあたっては、国際資本市場協会（ICMA）が定めるソーシャルボンド原則に則り策定し、また、その適合性を担保するため、第三者機関である株式会社格付投資情報センターから第三者評価「R&I ソーシャルボンドオピニオン」を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上